



1 学年国語科「それだけでいい」杉 みき子作の学習でつくったオリジナル詩の作品集に感動

1 学年の廊下に国語科で作った「それだけでいい」のオリジナル詩の作品が掲示されています。授業では、杉みき子さんの「それだけでいい」の詩を読み、言葉を理解して内容を捉え表現の仕方を学習しています。その学習のまとめとして、自分の伝えたい思いを言葉を選び、限られた語数で表現する詩の作成に取り組み、一人一詩の作品が見事に出来上がっています。一つ一つの作品を読んでいると、生徒たちの心の声が聞こえてくる感じがしてとても感動しました。自然の美しさや豊かさ・友達や家族の存在の大きさや大切さ・優しい心の温かさ・未来を見つめている思い・頑張るぞという思いが、自分にしか表現できない言葉でしっかりと伝えられています。様々な視点や独特の視点があり、個性豊かにそれぞれの感性を生かした素晴らしい作品です。言葉ってすごいな〜と、国語力が磨かれる学びを1年生の作品から感じています。



### 「主体性発揮の生徒会活動」南中に広がるあいさつのひまわり

「自分から先に」「立ち止まって」「相手の目を見て」「笑顔で」の南中あいさつ四箇条のあいさつが、生徒会の主体的な取組で広がっています。生徒会役員による毎朝のあいさつの呼びかけや学級委員によるポスターでの呼びかけやあいさつ運動等の取組が南中のあいさつをよりよいものにしていきます。第24代生徒会は、自分の行動を振り返り目指すあいさつの姿を全校生徒で達成しようと、「あいさつのひまわり」に取り組みました。達成できたら、シールを貼ってひまわりの花が咲いていきます。各学級には、たくさんのひまわりが咲きました。自分たちで意識をすることで行動が変わります。行動が変われば、習慣として身に付きます。みなさんのあいさつは、とても気持ちが良く元気にしてくれるエネルギーがあります。南中生のあいさつ四箇条のあいさつを地域に広げ、地域を元気に明るく、コロナ禍を乗り越えるエネルギーにしていきたいと思います。

